



『訪日外国人も安心！災害・防災情報伝達の最新状況』 防災国大2018にて専門家たちによるパネルディスカッションを開催！

アールシーソリューション株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:栗山章)は10月13日から2日間開催される防災推進国民大会2018(ぼうさいこくたい2018)において、訪日外国人に関する防災の専門家たちを招いたパネルディスカッションをおこないます。



■開催概要

タイトル：訪日外国人も安心！災害・防災情報伝達の最新状況

テーマ：年々増加する訪日外国人への災害対策の実例や課題を出し合い、
2020年に向けてどのように解決していくか探っていく。

2020年に向けて訪日外国人の人数は年々増加しており、日本で快適に旅行してもらうには災害対策が欠かせません。本セッションでは訪日外国人に関わる防災活動をされている方々にご参加いただき、パネルディスカッション形式で進行します。日頃防災に関わっている専門家の方々に、訪日外国人に対する取り組みや、課題、解決策についてお話していただきます。

※登壇者紹介は次のページ

[日時] 2018年10月13日(土) 14:30 ~ 16:00

[会場] 東京ビッグサイト 会議棟8F 801

聴講無料。定員40名。お申込みはこちらから ⇒ <http://bit.ly/2N7Hbwf>

■ブース出展情報

ぼうさいこくたい2018の期間中、ブース出展をおこないます。

ブースでは緊急地震速報アプリ『ゆれくるコール』をご紹介します。

[日時] 2018年10月13日(土) 10:00~18:00、10月14日(日) 10:00~16:00

[会場] そなエリア 1F廊下

[入場] 無料



＜登壇者紹介＞



中村 満寿央(なかむらますお)

一般財団法人ダイバーシティ研究所 理事

1960年生まれ。名古屋大学工学部卒業後、電機メーカーで半導体開発に従事。阪神淡路大震災を契機に外国人住民の生活支援活動に関わり、NPO団体「多文化共生センター」で多言語による生活情報提供を多く手がける。2001年に「株式会社グローバルコンテンツ」を設立し、外国人住民向け多言語携帯サイト、自治体等への多言語情報配信システム等を提供した。また、2004年の新潟中越地震以降、大規模災害時には被災外国人住民向けの多言語災害情報提供サイト運営に携わっている。現在は「一般財団法人ダイバーシティ研究所」理事として、働き方の多様化推進、災害時の要援護者支援等、より広い領域で人の多様性を地域と組織の活力にするための取り組みを展開している。



東穂 いづみ(とうぼいづみ)

株式会社三菱総合研究所

科学・安全事業本部 研究員

東北大学大学院理学研究科地学専攻修士課程修了。専門は地震電磁気学。2010年株式会社三菱総合研究所に入社。防災・国土強靱化を中心とした政府や自治体の事前防災、災害対応業務及び安全一般に関する調査、コンサル事業に従事。



山西 紀博(やまにし のりひろ)

アールシーソリューション株式会社 取締役

営業企画部 部長

大分県出身。米国の大学を卒業後、複数のIT系企業で数々のシステム開発を担当。2003年よりアールシーソリューション株式会社に参画。2014年に外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ「Safety tips」の開発を担当。そこで培った多言語防災情報配信の経験を活かし、2015年より同社が進めるインドネシアでの防災システム事業に従事。現地政府機関からの情報収集、防災系モバイルアプリの共同開発と技術指導にあたっている。

司会



渡邊 優(わたなべゆう)

アールシーソリューション株式会社

技術部

埼玉県出身。日本女子大学人間社会学部心理学科卒業。

2018年にアールシーソリューション株式会社に入社。現在は東京都を対象とした災害時対応支援アプリケーションの開発に取り組んでいる。

■ 基本情報

アールシーソリューション株式会社

2002年8月設立。2010年11月、緊急地震速報通知アプリ『ゆれくるコール』リリース。2011年10月、降水予測アプリ『あめふるコール』リリース。2014年10月、外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ『Safety tips』リリース。2017年3月、東京都オープンデータ防災アプリコンテストにて『ゆれくるコール』が来場者特別賞と特別賞を受賞。ITを活用して社会の安心に貢献するシステム開発に取り組んでいる。